

冷え、腹痛、頭痛)なら病態は血虚受寒と考えると、当归四逆加芍药生姜汤。サフラン併用も。

○胃腸弱くて軟便なら病態は脾腸虚と考えると附子人参湯や真武湯。

○下肢の浮腫、色白、貧血、肌荒れ、めまいなら病態は血虚、痰飲と考えると当归芍药散加附子。

○気が逆上しやすく、めまい、早朝頭痛が強ければ釣藤散も。痔核があれば紫雲膏。

○足の冷え、イライラ、アセリなどの精神症状なら肝気鬱結、気血両虚で、加味逍遥散がベースか。

○子宮や卵巣に問題があって肌荒れ、不妊、上熱下寒、手の火照り、下半身と下腹が冷えているなら病態は血虚・子宮に寒邪と瘀血と考えると温経湯を。

※5：感情の高ぶりや精神的な緊張のために手掌が発汗し冷えている。交感神経緊張。おそらく胸は高鳴り、脈は弦。肝気鬱結。紫雲先生の凝り症でまじめな性格が出ている。8年前に父である先代院長が亡くなり、急遽、後を継いだ。ストレスの多い日々、夜間中途覚醒、胃炎もあり。30歳台後半、もともと独身。仕事帰りに毎夜コンビニに寄るが院長である手前、どうしても人目を気にしながらの買い物。四逆散がベースか。

＜終わりに＞

さて、皆さんならこの二人にどんな処方をし、どんな結末を期待しますか…色の違う磁石は引き合います。すてきなコラボになるといいですね。

お知らせ

— 生命保険「団体扱い」のお奨め —

◇ 医業経営・福利厚生部 ◇

会員の皆様が加入されている下記生命保険会社（8社）の保険を、当会の『団体扱い契約』にしますと保険料が割引されます。

契約者が会員本人で『個人扱い』にてご加入されているご契約がありましたら、該当の生命保険会社担当者へ『北海道医師会の団体扱い』に変更したい旨、お伝えいただき、所定の手続きをお願いいたします。

記

【団体扱い生命保険会社名】

日本生命、ジブラルタ生命、第一生命、住友生命、明治安田生命、富国生命、朝日生命、三井生命

※実際の割引料につきましては、ご契約の保険会社にお問い合わせください。

※当会を退会した場合は、会員へ確認の上、個人扱いへ変更させていただきます。

団体扱いに変更された場合の保険料の払込方法は、以下のとおりです。

開業会員⇒「国保診療報酬」から引去
勤務医会員⇒口座振替により毎月12日に
所定の口座から振替いたします。

【口座振替 取扱銀行】

北海道銀行 本店、各支店
北洋銀行 本店、各支店

2行のみ

「問い合わせ先」

○団体扱い該当の生命保険会社
または
○北海道医師会『事業第五課』（TEL011-231-1434）